

# 朝の館内放送

令和元年5月7日

みなさん、おはようございます。

市長の中村健です。

カレンダー上、10連休となった今年のゴールデンウィーク、充実した日々を過ごすことができたでしょうか。

5月に入り、いよいよ令和の時代となりました。

平成という時代のイメージについて、当てはまるか、当てはまらないかという形式で、NHKが調査したところによると、当てはまると答えた割合が最も高かったのが、「戦争がなく平和な時代」で79%、次いで、「治安が良い時代」で56%だったそうです。

半面、当てはまると考えた割合が最も低かったのが、「社会的弱者にやさしい時代」で30%、次いで、「地域が助け合う時代」で36%でした。

また、平成になってから日本はよくなったと思うか尋ねた項目では、よくなったと答えた割合が最も高かったのが「情報通信環境」で88%、次いで、「道路交通網」で82%でした。

その反面、「政治への信頼」が22%、「日本を取り巻く国際情勢」が25%、「国の

経済力」は26%にとどまりました。この結果については、おそらく多くの方が共感する内容ではないかと思えます。

そして、こうした指標を見ることによって、社会環境の変化に関する大きな流れが把握でき、現在の日本社会が直面する課題も改めて浮き彫りになります。

社会的弱者にも優しい共生社会の実現や、地域コミュニティの活性化については、特に社会的な要請が強いテーマであると言えます。

それに加え、国際情勢や国の経済力については、市政運営とは直接の関係性が低いものの、政治への信頼は、行政への信頼と不可分なものです。

儒教の創始者である孔子は、「信無くば立たず」と語ったと言われています。

簡単に言えば、政治を行う上で最も大切なものは、民衆からの信頼であるということです。

様々な社会的課題の解決に取り組んでいく中で、チーム西尾市として、市民のみなさんから信頼と期待を寄せただけの市政を実現していきましょう。

以上で、館内放送を終わります。